



あまみ 市議会だより

No.56
2020.3



令和元年 12 月 24 日 / 最終本会議・紬議会



第 4 回 定 例 会

令和元年 12 月 6 日～ 12 月 24 日

発行 / 奄美市議会

編集 / 奄美市議会だより編集委員会

〒 894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町 25 番 8 号

TEL : (0997) 52-1111

FAX : (0997) 52-2815

Eメール : gikai@city.amami.lg.jp

- 奄美市議会新体制 2 P～3 P
- 第 4 回定例会一般質問 4 P～8 P
- 奄美市議会の活動報告 8 P
- 第 4 回定例会常任委員会の審査概要 9 P
- 第 4 回定例会の議案 10 P～11 P
- お知らせ / あとがき 12 P

常任委員会

議会には、常任の委員会として総務企画・文教厚生・産業建設の3つがあり、市政に関する分野を分けて担当し、調査や議案審査を行います。全ての議員がいずれかの委員会に属します。

総務企画委員会

市税などの市民部や企画・財政など総務部の分野を担当します。

委員長 副委員長



川口 幸義



大迫 勝史



正野 卓矢



奥 晃郎



崎田 信正



林山 克巳



伊東 隆吉



多田 義一

文教厚生委員会

健康・福祉・環境・教育・文化などに関する分野を担当します。

委員長 副委員長



竹山 耕平



栄 ヤスエ



弓削 洋平



荒田 幸司



松山 さおり



関 誠之



元野 景一

産業建設委員会

都市整備・住宅・道路・上下水道・産業・観光などに関する分野を担当します。

委員長 副委員長



橋口 耕太郎



永田 清裕



安田 壮平



西 公郎



奥 輝人



与 勝広



橋口 和仁

議会運営委員会

議会の運営に関することを決める委員会で、議会の日程等も決定します。

委員長／伊東 隆吉 副委員長／関 誠之

委員／永田 清裕・崎田 信正・安田 壮平・橋口 耕太郎・竹山 耕平・多田 義一

議会をご覧になりませんか！



議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧いただけます。

「傍聴」

事前連絡は不要です
奄美市役所名瀬庁舎8階
にお越しください。

「議会中継」

議会の様子を
インターネットで
生中継しています。

奄美市議会 議会中継

奄美市議会 新体制がスタートしました

令和元年第1回臨時会が11月25日に開催され、正・副議長、各常任委員長の選出ほか常任委員の選任などを行いました。決定した議会構成は次のとおりです。

議長



与勝 広

住所地：名瀬金久町
所属：公明党

先の改選によりまして、22人の新議員が誕生いたしました。議員も名誉職ではなく、責任職であるという自覚のもと、今後も精進して頑張りたいと思います。議会の運営に当たりましては、公正・公平・平等に議会運営ができるように努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。(当選挨拶より引用)



副議長



奥 輝人

住所地：笠利町節田
所属：自由民主党

議会が担う任務と議員が担う職責を十分に自覚しながら、市民の皆さんの議会に対する「緊張感・スピード感を持って取り組んでいただきたい」という要望を十分に理解し、22名で一致団結して市民の皆さんの期待や負託に応えられるように頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。(当選挨拶より引用)



党派・会派別構成

無所属	自由民主党	自民党奄美	日本共産党	チャレンジ奄美	社会民主党	公明党	党・会派他
2名	4名	6名	2名	3名	1名	4名	人数



市政を問う



12月9日・10日・11日の3日間で12名の議員が市政全般にわたる施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

左記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

議会録画配信

※質問順に掲載

議会録画配信はこちら

1
目
目



- 1 大迫 勝史
- 2 奥 輝人
- 3 竹山 耕平
- 4 崎田 信正

2
目
目



- 1 橋口 耕太郎
- 2 正野 卓矢
- 3 栄 ヤスエ
- 4 関 誠之

3
目
目



- 1 川口 幸義
- 2 橋口 和仁
- 3 安田 壮平
- 4 荒田 幸司

高齢者福祉の取組みと 市民生活の安心・安全について



大迫 勝史
(公明党)

問 高齢者等いわゆる「買い物弱者」が多く、特に徒歩で行ける商店がない佐大熊地区での現状についての対応は

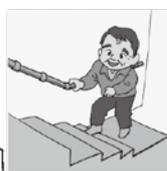
答 市内の事業所へ協力をお願いし、移動販売車によるサービスも行われている。また環境的な要因により、買い物に不便を被っている高齢者から相談を受けた際には代替サービスの提案や状況に合わせ、関係機関と連携を密に行い状態の改善に努めて参りたい。

問 介護保険住宅改修申請の決済期間を現状より迅速化できないか

答 担当者が在席であれば窓口で書類確認を行い平均2・3日で審査は完了するが書類の不備等や現場確認の必要があれば一週間以上かかる場合もある。人員増等は考えていない。

問 市道三儀山線が度々陥没を繰り返しているが、根本的に改修する計画はないか

答 経年劣化で路面悪化の改善と中高生の自転車通行の安全を図る為に社会资本整備総合交付金事業を導入し、抜本的な整備を行う。今年度は測量・設計業務。来年度に用地交渉・調査を行う予定である。



【その他の質問】

- コミュニティ路線バス運行改善について
- 「フードバンク奄美」との連携について
- 環境行政について
- 「給付型奨学金制度」活用について

たんかんの振興。 大島北高の活性化策について



奥 輝人
(自由民主党)

問 平成24年度から稼働している奄美大島選果場の当初の目的である共販・委託合わせた取扱量は463トンである。しかし例年半分以下の量である。取扱量が確保できていない理由は何か

答 部会などを中心とした生産者組織が十分でない事。また販売において選果場のメリットが活かされておらず、選果料に見合った販売単価に至っていないと考えられる。今後はJAがアンケートの再調査を行い、部会員のほ場に直接出向きJAへの出荷依頼を行い出荷量確保に取り組むこの事。市としては、他町村関係団体と連携し巡回指導などを通じて組織活動の強化や選果場への利用促進を図っていく。

問 大島北高の北大島地域における位置づけと存続に向けた活動について

答 全校生徒は115名の小規模校であるが、北大島地区には無くてはならない存在価値のある学校で、地域に与える経済効果も大きい。また学校、同窓会、地域振興協議会など連携を図り、北高の良さ・特性・成果を各場面でPRを行い存続に向けた取り組みを行っている。



生徒募集のPR看板

問 大島北高の普通教室へのエアコン設置の提言について

答 他校の例を参考にしながら、検討していく。

名瀬本港マリントウン事業について



竹山 耕平
(自民党奄美)

問 マリントウン整備事業進捗と今後の計画は

答 事業費ベースで約80%、市道整備、整地工事を進めている。今後は電柱移設や上下水道、ガス管布設工事等を予定。公募のプレゼンテーションを終え、契約及び希望区画の所有権移転が今年度末となっている。

問 子供たちへの世界自然遺産候補地としての教育について

答 全ての児童生徒が遺産候補として理解していると考えている。今後とも自然を守る大切さ、未来へ伝承する意識を高め、「環境教育・環境緑化」等、研究していく。

問 次期子ども子育て支援事業計画について

答 これまでに保護者・事業所へのアンケート調査を実施した。多くの意見等を受け、子育て世代のライフスタイルも多様化するなか、それぞれのニーズに沿った支援が求められている。奄美らしさをいかした適切な支援策に取り組んでいきたい。

問 海岸監視業務について

答 今年度は委託業者がいなかったため直営で行い、海浜巡回パトロールを重視し全体的に行った。課題の人材確保を含め関係機関と連携し、海浜利用者への多面的な安全管理対策に努めていく。

【その他の質問】

○用安入き地保育所建設
○バス利用について

老朽化した下佐大熊住宅の対策は



嶋田 信正
(日本共産党)

問 10月24日の陸上競技場上空で目撃された米軍機と思われる航空機の低空飛行についての対応は

答 この件には情報提供はなかったが、県を通して関係機関へ照会を行っている。



2019年10月24日(木) 三儀山
小学校陸上記録会にて撮影

問 老朽化した市営住宅の対策は

答 下佐大熊住宅の空き家は390戸中、現在58戸となっている。危険を及ぼす恐れのある箇所を優先して年度内に対応したい。修繕等については

連絡をいただき、職員が現場確認して対応している。今後建替等が必要となった場合、説明する場が必要と考えている。

問 消費税増税対策のプレミアム付商品券販売の実績と見込みについて

答 奄美市の「ポイント還元事業」の対象店舗と利用できる店舗数は

問 消費税増税対策のプレミアム付商品券販売の実績と見込みについて

答 10月26日現在、申請率は26.7%となっている。1200店舗が対象で利用できる店舗は340店舗が登録されている。

問 国民健康保険証の資格証明書と短期保険証の発行状況と正規の保険証の発行について

答 10月末現在、資格証明書は47件、短期保険証は595件となっている。正規の保険証発行については、全国の状況や県の考え方をふまえて検討していきたい。

防災行政について



橋口 耕太郎
(公明党)

問 防災シンポジウムやワークショップの定期開催はできないか

答 来年は奄美豪雨災害から10年の節目の年。豪雨災害を多くの皆様と振り返り、その教訓を再確認する良い機会と捉え、現在検討している。イメージとして防災専門家による講演会やパネルディスカッションなど多くの市民が参加しやすいプログラムを考えている。

問 有屋川、浦上川の寄洲除去について

答 この2つの河川は県管理の河川で、県が現在現地調査や市、住民からの要望を踏まえ優先度の高い順から対応している。市としても要望書を提出しており、来年度、予算の確保が出来次第、工事を予定している。

問 児童扶養手当が隔月支給(年3回から年6回)となったが周知状況、事務状況などどうか

答 8月の現況届の提出時期に、受給者全員に通知した。対象世帯は母子世帯665世帯、父子世帯52世帯、養育者世帯3世帯の72世帯。事務状況は、システム改修が完了し、11月には720名の対象者へ振込みを終了した。

問 県の統計で宿泊者数が伸びているが、本市の状況は

答 宿泊施設数は、平成28年度82件に対し平成30年度は106件と過去最多。本市の宿泊状況も増加傾向にあると認識している。



Wi-Fi環境整備について



正野 卓矢
(チャレンジ奄美)

問 一時避難場所の数と表示方法は

答 一時避難場所は143か所・避難できるビルは7カ所ある。避難ビルの表示がされていないビルもあるので、新たな避難ビルの追加の検討に加えて表示看板の更新をしていきたい。

問 町内会への避難ビル確保の支援はあるか

答 昨年の事例であるが、他の自治会でも一時避難場所の確保問題があり、自治会が市と所有者との相談を重ね一時避難所の確保に至っている。

問 ハザードマップの役割と課題・更新の予定は

答 役割としては、浸水区域マップや避難時の心得など『災害時の避難マニュアル』がある。課題としては、被害想定区域が重なり見づらいなどがある。現在は更新に向けて検討をすすめている。



問 Wi-Fi環境整備について防災の観点から避難した後の暮らしを考えた容量を増やす予定は

答 災害時の利用頻度、通常の運用などの課題もあるが活用可能な対策を講じながら環境の向上に努めたい。

問 観光の観点からもっと無料Wi-Fiを増やしていく予定は

答 奄美市全域において光回線が整備されたことで通信速度の速いWi-Fi環境の設置が可能になった。観光客の受け入れ体制の充実を図るため観光事業者によるWi-Fiの導入促進の為に助成事業を今年度から実施している。

福祉行政、市民生活について



栄 ヤスエ
(公明党)

問 難聴者・中途失聴者支援について

答 聴覚障害の身体障害者手帳保持者は、令和元年度で障害児が5名、障害者が483名。

問 軽度・中等度難聴の方への補聴器購入助成について

答 高齢者の補聴器の購入に対する助成は今後の課題とする。

問 要約筆記者・奉仕員の養成・派遣について

答 今後、要約筆記派遣事業の実施に向けて取り組んでいきたい。



問 ロタウィルスワクチン定期接種が令和2年10月より始まるが対象が令和2年8月以降に生まれた0歳児、対象外の0歳児に公費助成はできないか

答 国が示した規定に基づき、定期接種をスムーズに実施できるよう努める。

問 未婚のひとり親の支援給付金について

答 令和元年11月分の児童扶養手当の支給できる父又は母で、基準日の10月31日において、法律婚をしたことがない方が対象で、対象者は70人で31人が申請。

問 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）について

答 市民の皆様へ普及啓発の準備を始めたところ。



奄美市国民保護計画による避難訓練等の実施について



関 誠之
(社会民主党)

問 11月17日開催の防衛セミナーは住民に対する説明会ではないとの認識だが、市長の見解を

答 奄美駐屯地における活動や訓練等についてしっかりと説明した。

問 ミサイル配置について奄美市が知り得たのはいつか

答 平成26年8月12日当時の武田防衛副大臣の来島時、部隊配備は「普通科主体の警備部隊及び中距離地对空誘導弾部隊の計350名規模」との説明を受けた。

問 奄美市国民保護計画による避難訓練等の実施について

答 北朝鮮によるミサイル発射が頻発した平成29年から30年にかけて全国で実施されていたが、平成30年6月の米朝首脳会談

以降、国内においては実施されていないので、今後の状況を注視しながら判断したい。

問 来年度の予算に防衛施設周辺整備事業で計上する予算はあるのか

答 具体的な事業の導入には至っていない。導入要件等の研究を行い検討している。

問 自衛隊の駐屯地と世界遺産の棲み分けについて

答 世界遺産との棲み分けはしっかりとできていると考えている。

【その他の質問】

○笠利学校給食センターの委託契約、プロポーザルについて

○市会議員選挙の投票率低下の分析と投票率向上対策

○選挙事務等におけるミスの原因と対策

市長の政治姿勢について



川口 幸義
(自由民主党)

問 地区防災計画について

答 国の防災基本計画や県市町村の、地域防災計画などのトップダウンの防災対策と異なり、地域コミュニティにおける共助による防災対策推進の観点から住民の視点、地区の特徴を生かした活動を進めることを目的に、住民主体で取り組むポトムアップ型の計画である。本市では、平成27年度に笠利町外金久地区において、県の防災推進員（松本哲也さんのアドバイザーや当時の駐在員、地域の皆様など）の尽力により笠利町外金久地区防災計画が策定されている。今後の取り組みについては、出前講座や地域防災リーダー養成講座などを開催し、人材の育成に努めるとともに避難訓練等を通して、防災力、減災力を

高めながら、外金久地区防災計画をモデルとして他地区の防災計画策定に繋がるよう、引き続き防災推進員などと協力して支援を行いたい。



【その他の質問】

○ 教育行政について

・児童生徒の学力向上と教職員の指導力向上を目指した取り組み、保護者や地域の人々が児童生徒に学力をつける重要性を認識するための活動学力向上フォーラムの開催について

○ 子ども食堂について

・大阪府堺市は、新規で子ども食堂の開設者について、市の諸条に適合された申請者に対し、20万を上限にて助成金の交付を行っているが、本市も取り組むことは出来ないか

あやまる岬観光公園整備。人口対策について



橋口 和仁
(自民党奄美)

問 あやまる岬公園のWIFI環境の検討はすべきでは

答 導入エリアや方法について検討を行い早期に実施できるように努めていきたい。

問 公園内民間の投資が必要ではないか

答 セグウェイ等含む、新たな観光導入については十分な安全対策が必要で事業者・奄美市指定管理者との連携調整が必要であり必要に応じて検討する。

問 県道宇宿の現状について伺う

答 宇宿地区では未整備区間の代表者や各種団体等で、道路改良整備の要望書及び同意書整理を行っている。地元と一体となり強く要望していきたい。

問 人口対策・移住定住促進に向けての課題は

答 住宅の整備、空き家バンク制度、住宅購入・リフォーム費助成等の事業を実施しているが住宅の供給が不足していることが課題。対策として奄美市全域を対象に空き家の実態調査を実施し所有者など貸したい・売りたい物件の掘り起しに努めていきたい。

問 移住促進制度の見直しについて

答 移住後の住宅購入費助成金の対象期間を3年へ延長できないかこの提案については、事業内容対象、助成額について検証し検討していきたい。

【その他の質問】

○ 交流人口について

○ 関係人口について

○ 奄美大島総合戦略について

路線バスの利便性向上を！



安田 壮平
(チャレンジ奄美)

問 地方創生の総合戦略について、これまでの総括は

答 最重要の「奄美幸福度指数」について、島への愛着やおもてなしの気持ちは高い反面、生活全般や医療・福祉環境の満足度は低い傾向である。また、奄美大島入込客数や特別通訳案内士数などは目標に到達できたが、空き家バンク登録件数などは低調である。

問 バス路線の再編について、市役所と民間事業者との責任・役割の分担は

答 実際の運行面は事業者が、市が運行依頼している路線の計画全体については市が責任を負う。「奄美市地域公共交通活性化協議会」で地域全体の重要課題として取り組んでい

問 医師会病院直行路線を復活できないか。また、こしゆく第一公園バス停の屋根・ベンチ整備予定は

答 全体のタイヤと運転手配置の調整により検討する。バス待ち環境の改善も検討を進めている。

問 市税等のクレジットカード決済を導入しては

答 システム運用上は可能であり、どのような税等を対象とするか全庁的に協議しながら検討したい。

問 選挙公報をホームページに掲載してはどうか

答 県内19市中8市の市長選挙・市議会議員選挙で導入されており、本市でも前向きに取り組みたい。





荒田 幸司
(日本共産党)

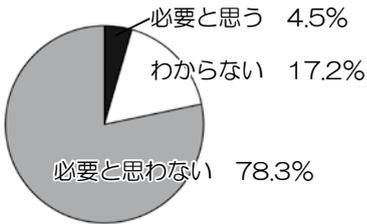
問 市長の防衛問題は「国の専権事項」という表現の真意について

答 地方自治法に地方公共団体のあり方や国との役割分担が示されている。そのことを踏まえると我が国又は国民の安全保障に係る防衛問題については、国際社会における国家としての存立にかかわることから「国の専権事項」と言っている。

問 「奄美のミサイル部隊」の是非を問うシール投票の結果について（投票結果は下段に記載）

答 投票結果については色々な意見があるのは承知しているが、投票方法対象者など、詳細について把握していないので具体的な答弁は控える。

ミサイル部隊の是非を問うシール投票結果（2日間で447名回答）



問 バス運行の変更に対する苦情などへの対応について

答 市民からの意見や要望については商工情報課でも受けている。今後については、ダイヤ調整や車内アナウンス、バス待ち環境の改善に取り組んでいく。

問 幼児教育・保育無償化に伴う副食費の保護者負担の助成について

答 私立の保育施設については、個々の施設で金額設定をしているが結果として私立、公立の保育施設共に月額5千円の保護者負担となる。副食費の市独自の助成については、長期的な財政状況の見通しなども踏まえて検討していく。

産業建設委員会 視察

産業建設委員会は12月17日にマリントウン、伊津部勝・名瀬勝・小湊線の視察を行い、進捗状況等の確認を行いました。



義援金贈呈

奄美市議会では、令和元年台風19号に伴う災害の被災地を支援するため、議員に義援金を募り合計11万円の義援金が集まりました。12月24日に奄美市議会を代表して与議長が朝山市長に義援金の目録を渡しました。



第4回定例会 常任委員会

審査概要

12月16日 文教厚生委員会
12月17日 産業建設委員会
12月18日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

総務企画委員会

奄美市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

印鑑登録者がマイナンバーカードを利用する事で、コンビニエンスでの印鑑登録証明書の交付が可能となる。

問 印鑑登録証の提示も必要か

答 市役所窓口での発行に関してはこれまでと変更なし。コンビニ交付に関しては、マイナンバーカードのみで良く、印鑑登録証の提示は必要ありません。

※住民票や税証明などのコンビニ交付も可能となりました。(令和2年1月6日より)

日本政府に核兵器禁止条約の調印、批准を求める陳情
▼不採択とすべきもの

陳情事項

1. 日本政府に核兵器禁止条約を調印、批准することを求める意見書を提出すること。

議員からの主な意見

○我々日本は唯一の被爆国であり、率先して核兵器を廃絶する立場を明確にする必要があり、世界からも注視されている。

○核を使用することが一度とあってはならない事は分かっているが、現在世界各地で紛争がある中、特にアジアでは危険性が高まっている。日米安全保障の中で守られている現実を無視して、日本が批准する事は困難であろうと考える。

産業建設委員会

あやまる岬観光公園公衆無線LAN整備業務
▼60万1000円

観光案内所周辺及び多目的広場、グラウンドゴルフ周辺にWi-Fi環境を整備する業務

問 具体的な整備場所はどこか。また、工期はどのぐらいか。

答 あやまるのいわゆる台地部分の観光案内所周辺とグラウンドゴルフ場の管理棟、ファンシーサイクルの管理棟の計3か所の周辺を計画している。工期については年明けに発注し、年度内の工期を見込んでいる。

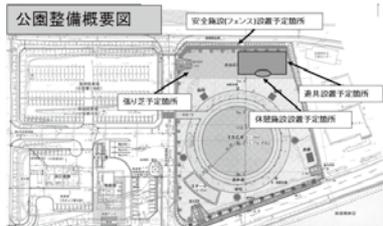
内海公園自由広場

▼1400万円

内海公園自由広場に設置する遊具周辺の整備を行うことにより、公園利用者の安全対策や利用環境の向上、周辺施設の利用者の増加につなげるもの。

問 整備の内訳については

答 休養施設、バーゴラー基、ベンチ2基、安全対策としてフェンスの設置をし、地面に張芝を行うものである。



文教厚生委員会

介護保険支援事業費 ▼2153万5千円

第7期介護保険計画で、新たに整備する定期巡回・随時対応型訪問介護事業所を新設するための費用の補助金で、今後公募により事業所を決定する。

児童福祉費 扶助費 児童扶養手当

▼5920万

児童扶養手当支給月変更に伴い、今年度11月以降、従来の年3回の支給から、年6回へと変更になり、支給月が多くなるため。

東京2020オリンピック聖火リレー事業負担金 ▼302万5千円

4月28日に奄美市で開催される「東京2020オリンピック聖火リレー」の事業に係る負担金。

奄美市立学校設置条例及び奄美市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定

来年4月から朝日地区での認定こども園に改めるもの。

問 認定こども園に対する基準、詳細は

答 設置主体としては、幼稚園に保育所の機能が付いた施設で自治体と学校法人のみが設置できる。今回は3歳から5歳までを対象としている。開園時間については事情に合わせて調整するが、現在では朝7時半から午後6時までを想定しているが今後の検討事項となっている。

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	結果	所管委員会
陳情第7号	沖縄県首里城の募金活動協力に関する陳情	首里城募金・奄美市民の会 代表 大津 幸夫	取下承認	本会議
陳情第8号	日本政府に核兵器禁止条約の調印、批准を求める陳情	奄美民主団体協議会 会長 荒田 まゆみ	不採択	総務企画
陳情第9号	日米地位協定の見直しを求める陳情	奄美民主団体協議会 会長 荒田 まゆみ	継続審査	総務企画
陳情第10号	奄美駐屯地からミサイル部隊撤退をもとめる陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画

賛否が分かれた案件

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。(○は賛成・●は反対) ※与勝広議員は議長職の為、表決権はありません。

議案番号・件名	議員名(議席番号順)																【○賛成数】	【●反対数】							
	正野 卓矢	弓削 洋平	永田 清裕	奥 晃郎	荒田 幸司	崎田 信正	安田 壮平	橋口 耕太郎	栄 ヤスエ	大迫 勝史	松山 さおり	林山 克巳	西 公郎	関 誠之	奥 輝人	川口 幸義			伊東 隆吉	元野 景一	与 勝広	竹山 耕平	橋口 和仁	多田 義一	
議案第99号 令和元年度奄美市一般会計 補正予算(第3号)	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	18	2
議案第106号 奄美市長及び副市長の給与 に関する条例等の一部を改 正する条例の制定について	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	18	2
陳情第8号 日本政府に核兵器禁止条約 の調印、批准を求める陳情	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	欠席	●	●	○	●	●	●	●	-	●	●	●	●	3	17
陳情第10号 奄美駐屯地からミサイル部 隊撤退をもとめる陳情	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	欠席	●	●	○	●	●	●	●	-	●	●	●	●	3	17

請願書や陳情書が 提出できます。



市政などに対して意見や要望があるときは、市議会に請願書や陳情書等を提出することができます。請願書を提出するときは議員の紹介を必要としますが、陳情書の場合は必要ありません。提出期限がございますので、ホームページをご覧くださいか議会事務局までお問い合わせ下さい。

第4回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第 99 号	令和元年度奄美市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決	全委員会
議案第 100 号	令和元年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	文教厚生
議案第 101 号	令和元年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	文教厚生
議案第 102 号	令和元年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	産業建設
議案第 103 号	令和元年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	産業建設
議案第 104 号	令和元年度奄美市水道事業会計補正予算（第2号）について	原案可決	産業建設
議案第 105 号	奄美市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 106 号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 107 号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 108 号	奄美市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 109 号	奄美市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 110 号	奄美市名瀬農村環境改善センター条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第 111 号	奄美市立学校設置条例及び奄美市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 112 号	奄美市木工工芸センター施設の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 113 号	奄美市地域間交流施設（用体験交流館）の指定管理者の指定について	原案可決	総務企画
議案第 114 号	奄美市地域間交流施設（打田原交流館）の指定管理者の指定について	原案可決	総務企画
議案第 115 号	奄美市地域間交流施設（あった結い交流館）の指定管理者の指定について	原案可決	総務企画
議案第 116 号	奄美市住用観光交流施設及び奄美市農林産物加工センターの指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 117 号	奄美市市民農園の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 118 号	奄美市農業研修センターの指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 119 号	奄美市名瀬農村環境改善センターの指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 120 号	奄美市笠利営農支援センターの指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 121 号	奄美市農林産物直売所の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第 122 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第 123 号	過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第 124 号	奄美大島地区介護保険一部事務組合規約の変更について	原案可決	文教厚生
議案第 125 号	監査委員の選任について	同意	本会議

議会の動き

《11月》

- 5日 県市議会議長会臨時総会/東京都
国会議員との意見交換会/東京都
- 6日 全国市議会議長会第107回評議員会
/東京都
- 10日 第12回奄美市民体育祭
- 12日 第1回世話人会
- 14日 新人議員説明会
- 15日 全国過疎地域自立促進連盟理事会・
定期総会/東京都
- 18日 第2回世話人会
- 22日 全員協議会
- 25日 令和元年第1回臨時会
- 28日 議会運営委員会

《12月》

- 6日 議会開会
- 9日 一般質問
- 10日 一般質問
- 11日 一般質問
- 13日 本会議・会派代表者会
- 16日 常任委員会（文教厚生）
- 17日 常任委員会（産業建設）
- 18日 常任委員会（総務企画）
- 24日 最終本会議（紳議会）
全員協議会・議会運営委員会
- 25日 日本復帰記念の日のつどい

令和2年《1月》

- 3日 3地区成人式
- 5日 第42回紬の日のつどい
- 16日 議会運営委員会
- 20日 県市議会議長会臨時総会/鹿児島市
- 21日 市議会議員研修会

第1回定例会の予定

2 February 2020

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18 開会	19 常任委員会	20 常任委員会	21 常任委員会	22
23	24	25 本会議	26	27	28	29

3 March 2020

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 本会議	12	13 予算等特別委員会	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25 最終本会議	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

市議会だより

編集委員会

- 【委員長】 元野 景一
- 【副委員長】 荒田 幸司
- 【委員】 弓削 洋平、奥 晃郎、橋口 耕太郎、松山 さおり、林山 克巳、関 誠之



令和2年3月

編集あとがき

市議会だより編集委員会は、この様なメンバーに新体制の姿を整えて、スタートすることになりました。8名の心を合わせて奄美市民の皆さんに奄美市議会の全容をお伝えすることに全力をささげます。会のはじまりにあたって、私がメンバーにお願ひした事は、あとがきは、メンバー一人一人が、かならず一度は執筆していただく事を誇りに思っけて貫く覚悟を要請いたしました。

時代が進み、世界が変容を続けています。今日の国連の判断基準は混乱を極め、今日に至っては、イギリスのEU離脱をはじめヨーロッパが激しく揺れ動く事態です。世界は今まさに新型コロナウイルスの件で揺れています。このような時代に私たち奄美市議会だより編集委員会は、市民の皆さんが、市議会に興味を持って見つめてくれることを願いつつ努力したいと思ひます。

(元野 景一)